

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	宇都宮大学 オプト-バイオシンポジウム 会場：宇都宮大学 (陽東キャンパス)
演題名	ジャスモン酸類の添加がユーグレナのクロロフィル含量に及ぼす影響
発表者	○高橋晃司★[1]、渡邊陽太★[1]、加藤翔太**[1]、 <u>山根久和</u> [1]、 <u>篠村知子</u> [1] (植物分子細胞学研究室) [1]帝京大・理工
内容	<p>ジャスモン酸は高等植物において、光形態形成に関与することが報告されています。微細藻類ユーグレナに存在するジャスモン酸の機能を明らかにする目的で、本研究では、培地へのジャスモン酸類の添加がユーグレナの増殖や光合成色素含量に及ぼす影響を解析しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研生(★)、大学院生および博士研究員(**)も参加して活発な研究交流を実施しました。</p>
関連画像	